



鶴の便り 鶴の便り

夕鶴の里資料館報

平成25年3月20日
第27号
発行 夕鶴の里
TEL 47-5800

民話講座 22

私の好きな昔話

今までの昔話研究・収集で、日本に八百種を越す昔話があることが知られている。その中で、何よりも好きな昔話の一つに、「なら梨とり」がある。こんな話である。

お母さんが病気で寝ていて、「なら山の梨を食べたい」という。長男は早速なら梨を採りに出かける。すると白髪のおじいさん（実は神さま）が道に立っていて、「行け、さらさらと鳴ったら行け

ばよいが、「行くなさらさらと鳴ったら、戻りなさい」と教えてくれたが、母のことを思って、「行くな」というのに行くと、また白髪のじいさまが、「道の真中に牛が寝ているが、その前で足でどんと道を踏んで、牛が起きて林の中へ行ったら行けばよいが・・・」。しかし牛は起きないが、母のことを思って牛をまたいで行く。

とすると、木の上から、妖怪が「いい夕飯がやってきた」と、ゲロンと呑み込んでしまった。次男も全く同じに長男同様、妖怪に飲まれてしまう。待っても戻らない三男は心配になつて、行くと、白髪のじいさまが言うとおりに、「行けさやさや」と笹の葉が鳴っており、寝ている牛の前で地面をドンと踏むと、牛は起きて林の中に入っていく。滝の前ではじいさまが山刃を一本呉れ、滝の音も「行けざんざん」と鳴っている。滝を渡り、梨の木に登り、梨を採っていると、妖怪が現われたので、山刃で足を折ると、ドタンと地面に妖怪が落ちてしまい、腹の中に生きていた長男と次男も助けて、母に梨を食べさせると、母の病気も治る。

夕鶴の里特別研究員 武田正



夕鶴の里平成二十五年行事(イベント)予定

- 一、十四回語り部養成講座
 - ◇日時 六月 一日(土) 開講式
 - 六月 十五日(土)
 - 七月 六日(土)
 - 七月 二十日(土) 中間公開講座
 - 八月 三日(土)
 - 八月 十七日(土)
 - 九月 七日(土)
 - 九月 二十一日(土) 閉講式
 - 十三時三十分～十五時
 - ◇場所 夕鶴の里
- 二、第十一回語り部伝
 - ◇日時 七月七日(日) 十三時～
 - ◇場所 語り部ホール
- 三、第十四回民話まつり
 - ◇日時 十月六日(日)
 - 十三時三十分～
 - ◇場所 語り部ホール
- 四、おきたま語り部の会研修発表会
 - ◇日時 六月二十三日(日)
 - 十三時三十分～
 - ◇場所 置賜文化センター
- 五、第十五回子どもまつり
 - ◇日時 九月二十九日(日)
 - 十三時三十分～
 - ◇場所 防災センター
- 六、夕鶴の里友の会研修会
 - ◇日時 五月十九日(日)
 - ◇場所 山寺方面
- 七、夕鶴の里昔のあそび
 - ◇日時 五月二十五日(土)
 - 七月二十七日(土)
 - 九月二十八日(土)
 - 十一月三十日(土)
 - 一月二十五日(土)
 - ◇場所 夕鶴の里

ある日、へびの尻尾が言い
ました。
「わたしはいつも一番後から
ついて行くけれど、たまには
先頭になって歩きたいわ」
頭や胴体は、みんな反対し
ました。
「きみはどうやって、ぼくら
を引っ張って行くつもりな
の？ 目も鼻もないのに」
けれども尻尾は、言う事を
聞きません。
とうとう胴体たちは、引き
下がりました。
尻尾は大得意で、めくらめ
っぽうに胴体と頭を引きずつ
て、めちやくちやに進みまし
た。
そのうちにとうとう、石こ
ろだらけの穴に落ちて、全身
傷だらけになりました。
すると尻尾は、猫なで声で
哀れっぽく頭に頼みました。
「お願いです、頭さん。助け
てください。わたしが悪うござ
いました」
このお話しは、人に逆らっ
て出来もしない事をしようと
する、おろかな人をいましめ
ています。

むかしむかし、江戸のある
町で、たくさんのへびが坂道
の途中に集まって重なり、縄
であんだ桶のようになってい
ました。
あまりにも珍しい光景なの
で、坂道をゆきかう人々は足
を止めてながめていました。
すると、その話を聞いた近
くにすむ十四歳の千吉(せん
きち)と言う男の子が、急いで
その坂へ走っていきました。
そしてとぐろを巻いて、桶
のように重なりあっているへ
びの固まりの中へ、いきなり
手を突っ込んだのです。
「おいおい、馬鹿な事をする
な。へびにかみつかれたらど
うするんだ」
見ている人たちが心配して
言いましたが、千吉は平気な
顔でニッコリしました。
そして突っ込んだ手の先で
何かを掴むと、引き出した千
吉の手には、古い銅銭が一枚
にぎられていたのです。
千吉は小さい時に死んだお
ばあさんから聞いた話を、ず
っと覚えていたのです。
千吉のおばあさんは、こう
言ったのです。
「いいかい、へびがたくさん
集まっている所はへび塚と言

ホームページのご案内

夕鶴の里のホームページ
ではその日の出来事や夕鶴
の里のイベント情報などの記
事載せております。
ぜひご覧になって下さい！

<http://nanyobrand.com/nanyo-cl/yuduru/>



福娘童話集より

って、その中にはへびの宝が
あるんじゃない。その宝を手に入
れた者は運が開けて、一生、も
お金に困らないというぞ。も
しもへび塚を見つけたら、怖
がらずに手を入れてみなさ
い」
おばあさんが言った事は、
本当だったのです。
そのへびの宝である銅銭を
大切に持った千吉は、それから
どんどん運が開けて、大金持
ちになったという事です。

前号(第26号)の訂正について

平成24年度漆山小学校語り部養成講座
2班 小川 駿太(4年)を
2班 小川 駿汰(4年)に訂正下さい。

大変申し訳ございませんでした。

夕鶴の里友の会会員募集

夕鶴の里友の会では、会員の募集を行っております。
民話に関心のある方、夕鶴の里友の会活動に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご紹介下さい。

連絡先 夕鶴の里内事務局
☎ 47-5800

